



「上町台地 今昔タイムズ」第11号

「上町台地 今昔タイムズ」*第11号では、「難波宮前夜から天下の台所を経て大
大阪とその後へ 足下に眠る“上町台地バレー”まちづくりの魁・ものづくりの都
が姿を現す」をテーマに、近年の発掘調査の積み重ねから明らかになってきた、
ものづくりの都・大阪の実相に迫る機会としました。

今回のフォーラムでは、都市考古学のフロンティア、大阪・上町台地での丹念な
発掘調査の成果を、時空を越えるスコープとして、人文地理学や都市文化論、地
域産業や生活史の視点も重ね、まちが生まれ都市が形づくられ営まれていくダイ
ナミズムを、ものづくりとの関係性の中で、今に続くストーリーとして捉え直してい
きます。上町台地の谷々に最先端のものづくりの工房が集積した古墳時代に遡り、
近世の大坂城下町が技術と文化の連鎖する高密度な共創空間であった様子からそ
の先まで、時を駆けて未来に続く原風景を目覚めさせ、これからのまちづくりの魁
とはいかなるものか、ともに探り市民の知として共有する場とします。

*「上町台地 今昔タイムズ」のバックナンバーや、プロジェクトの歩みは、
ホームページ「大阪ガスCEL」「U-CoRo」で検索してご覧いただけます。

クロスオーバー・トーク：時空を越えるスコープで 目覚める“上町台地バレー”から、 まちづくりの魁・ものづくりの都の実相に迫る

- 開催日時：2019年2月24日(日) 14:00～17:00頃 ※受付は13:30から
- 会場：大阪ガス実験集合住宅NEXT21 2階ホール
大阪市天王寺区清水谷町6-16
- プログラム(予定)：
 - 14:00～14:10 開会 ご挨拶/趣旨説明
 - 14:10～14:30=出演者自己紹介(それぞれの立場・視点や抱負や期待を簡単に紹介)
 コメンテーター：加藤 政 洋(立命館大学文学部 教授)
 藤田 富美恵(童話作家)
 佐藤 隆(大阪市教育委員会文化財保護課)
 - モデレーター：池 永 寛明(大阪ガス エネルギー・文化研究所 所長)(順不同、敬称略)
 - 14:30～15:50=クロスオーバー・トーク(前場)
 - 16:00～17:00=クロスオーバー・トーク(後場)

モデレーターによる問題提起に続き、参加者それぞれの立ち位置から、まちが生まれ都市が形
づくられ営まれていくダイナミズムともものづくりの関係性についてコメント、その実像を掘り出します。

ご来場のみなさまを交え、時空を越えて浮かび上がってきたストーリーと原風景から、未来に続
くまちづくりの魁とはどうあるべきか、ともに探り知を共有する場とします。

- ◎参加申込：参加者名・所属・連絡先を書いて、FAX.06-6205-3512(CEL弘本)へお申込みくださるか、
<https://www.sumai-machi-net.com/event/portal/event/33388>の申込フォームをご利用ください。
- ◎定員：50名程度 ※参加無料 ◎問合先：CEL弘本(電話06-6205-3518)まで
- 主催：大阪ガスエネルギー・文化研究所(CEL) 企画：U-CoRo プロジェクト・ワーキング(CEL弘本由香里、B-train 橋本護・小倉昌美)

U-CoRo Step 2 壁新聞プロジェクト関連イベント
上町台地・今昔フォーラム VOL.11



硯師



瓦工



研師



陶工



墨師



鍛冶

※江戸時代の職人の絵は、硯師・墨師は「人倫訓蒙図彙」(1690)、その他は「和漢三才図会」(1712)挿図より(国立国会図書館デジタルコレクション)



フォーラム会場地図 地下鉄「谷町六丁目」7号出口から徒歩5分ほど